

# 【参考】開通後の交通状況

## ● 圏央道の開通3ヶ月後の日交通量は、平均2,100～5,600台/日。

圏央道（久喜白岡JCT～幸手IC間）：5,600台/日

圏央道（幸手IC～五霞IC間）：4,500台/日

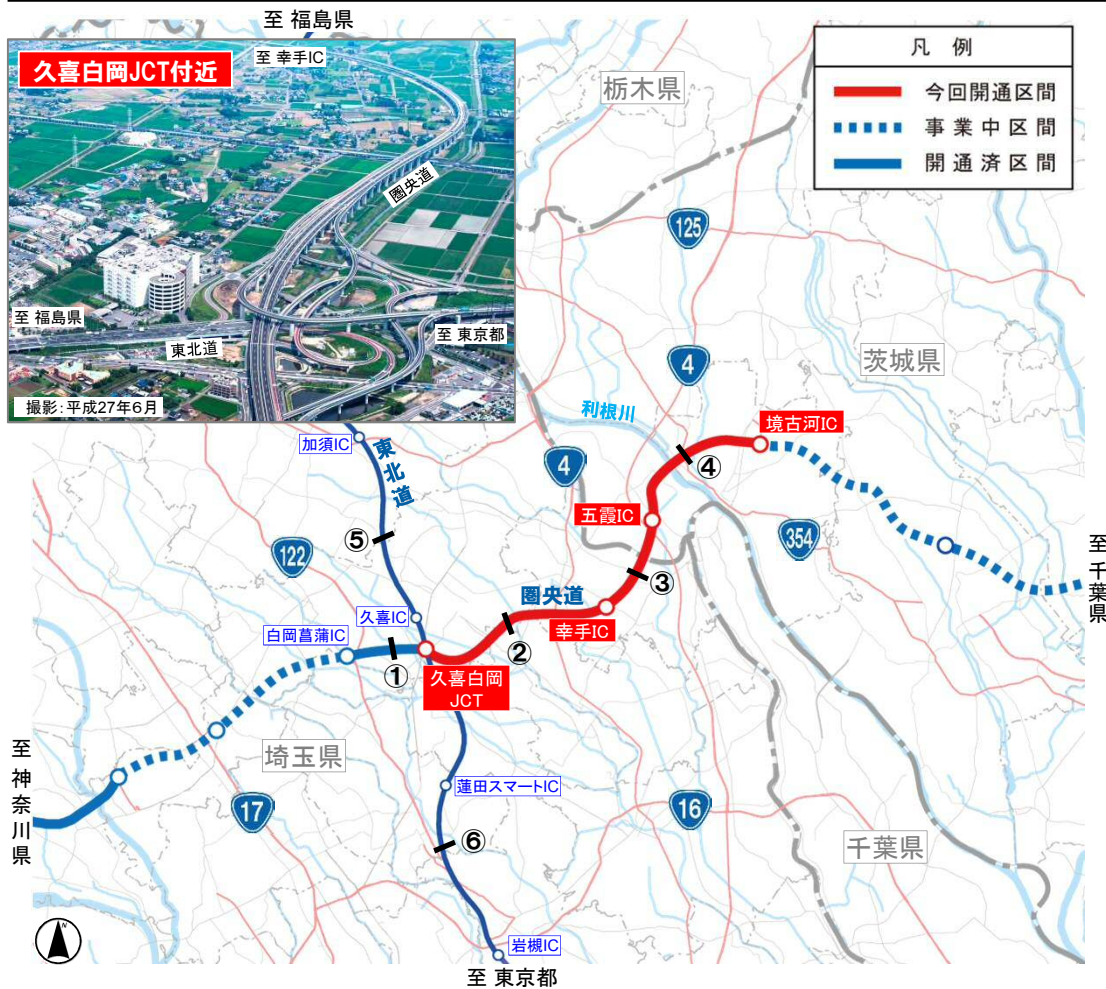
圏央道（五霞IC～境古河IC間）：2,100台/日

## ● これまで開通していた白岡菫蒲IC～久喜白岡JCT間の交通量は、対前年同期間比較で増加。東北道は対前年同期間比較で大きな変化なし。

圏央道（白岡菫蒲IC～久喜白岡JCT間）：6,700台/日→8,600台/日[28%増]

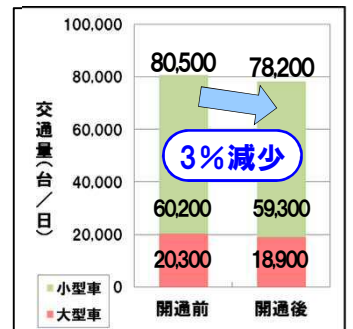
東北道（久喜IC～加須IC間）：80,500台/日→78,200台/日[3%減]

東北道（岩槻IC～蓮田スマートIC間）：90,300台/日→89,200台/日[変化なし]

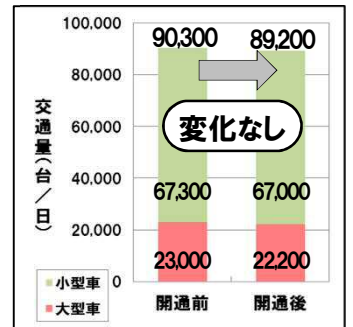


### 東北道(⑤, ⑥)

#### ⑤久喜IC～加須IC(圏央道外側)

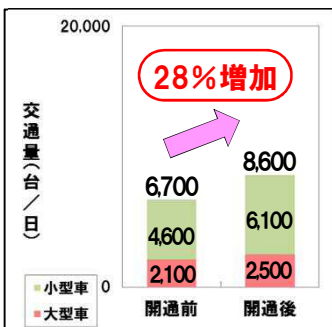


#### ⑥岩槻IC～蓮田スマートIC(圏央道内側)



### 圏央道(①, ②, ③, ④)

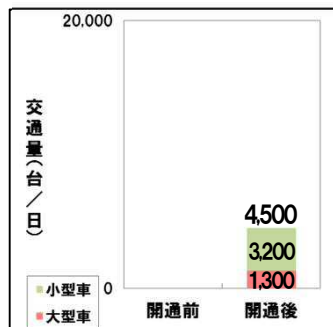
#### ①白岡菫蒲IC～久喜白岡JCT (東北道以西)



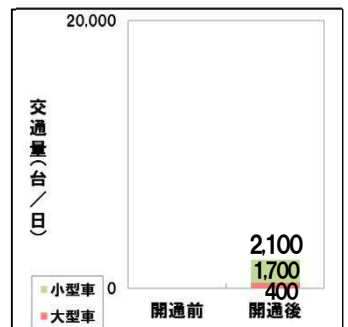
#### ②久喜白岡JCT～幸手IC (東北道以東)



#### ③幸手IC～五霞IC (東北道以東)



#### ④五霞IC～境古河IC (東北道以東)



出典) NEXCOデータ

開通前：平成26年3月31日(月)～6月30日(月)の日交通量の平均値(92日間)  
開通後：平成27年3月30日(月)～6月29日(月)の日交通量の平均値(92日間)

# 【参考】開通後の交通状況

- 開通区間(五霞IC)にアクセスする国道4号春日部古河バイパス(新4号バイパス)が4車線で開通しており、交通量が増加。

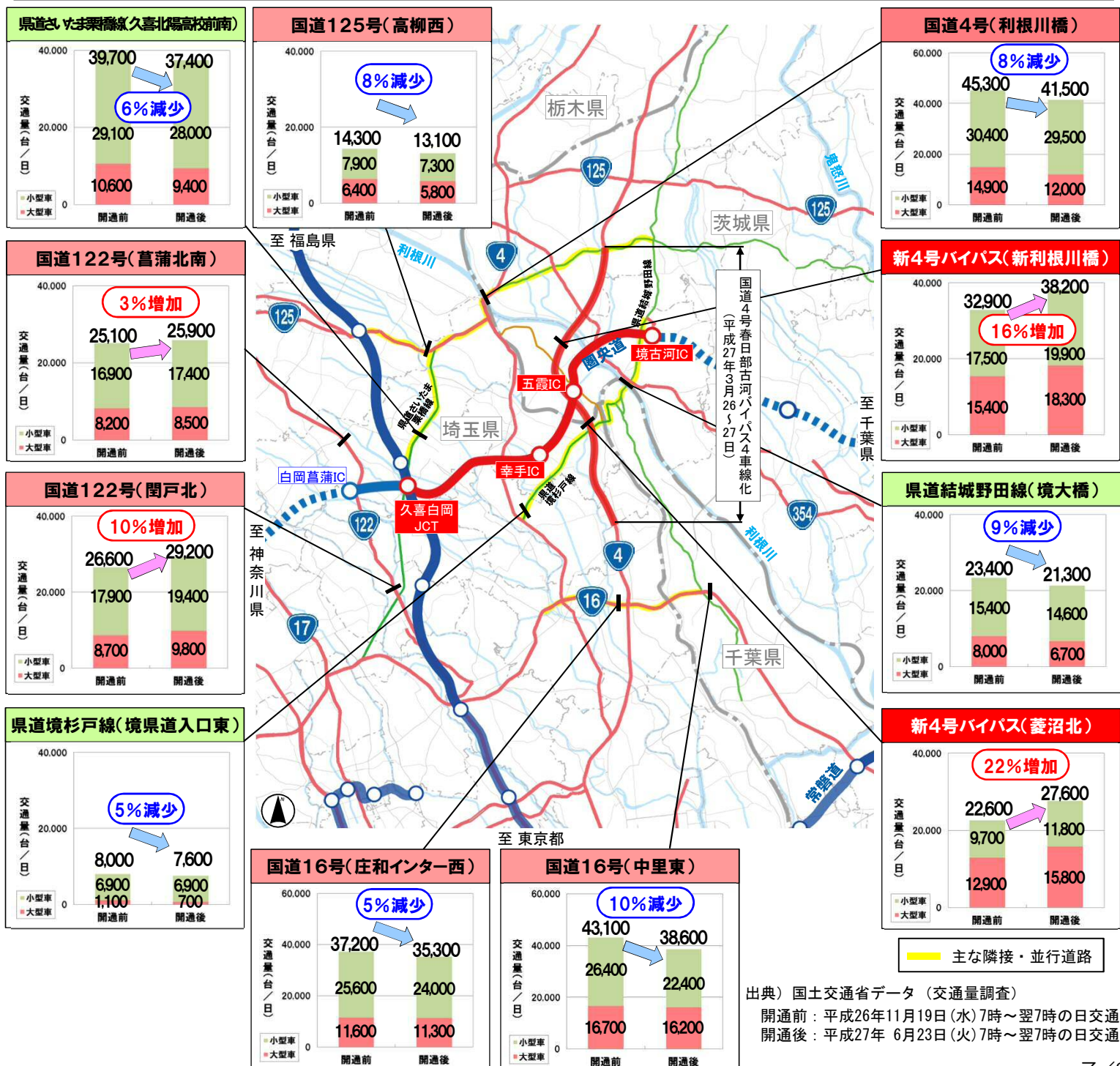
新4号バイパス(新利根川橋断面) : 32,900台/日→38,200台/日[16%増]  
 新4号バイパス(菱沼北断面) : 22,600台/日→27,600台/日[22%増]

- これまで開通していた白岡菖蒲ICにアクセスする国道122号の交通量が増加。

国道122号(菖蒲北南断面) : 25,100台/日→25,900台/日[3%増]  
 国道122号(関戸北断面) : 26,600台/日→29,200台/日[10%増]

- 開通区間に隣接・並行する一般道では交通量が減少しており、開通区間等への転換が図られている。

国道16号(中里東断面) : 43,100台/日→38,600台/日[10%減]  
 県道結城野田線(境大橋断面) : 23,400台/日→21,300台/日[9%減]



出典 国土交通省データ(交通量調査)

開通前: 平成26年11月19日(水)7時~翌7時の日交通量  
 開通後: 平成27年6月23日(火)7時~翌7時の日交通量